

はじめに

毎日のように掲載されている、「これを使うと、遠くの声まで、はっきりと聞こえます」と書かれた広告。

心の中で、思わず、ホンマかいな？と、突っ込みたくなるような美辞麗句のオンパレード。

しかも、お値段は、取っ付きやすい、1万9800円。

「一度、試してみようかしら。」と早速、電話で注文する。

そして3日後、お待ちかねの商品が到着。

早速、自分の耳に入れてみる。「あれ、なんか、おかしいな。」耳にきっちり収まらない。しかも、ピーピー鳴るだけで、

何も聞こえない。「これ、一体、どうなってるの？」

こういつたエピソードは、何も、珍しいものではありません。

昔のような聞こえに、すっかり戻れるとは思わないけれど、今より、少しでも聞き取りやすくなりたい。

そして、どうせ補聴器を買ったたら、『絶対に失敗したくない！』
でも、そんな期待と不安の中で、何を判断基準にしたら良いのかが分からない。

昔のように、元通り聞こえる、とまではいきませんが、補聴器とうまく付き合うことができれば、

明るい毎日を過ごすことは可能です。

この小冊子には、そのために必要なノウハウが、ぎっしり詰め込まれています。

これは、実をいうと、本屋さんで売っている当たり前の事しか書いてない本とは、百八十度異なります。なぜなら、あなたが本当に知らなければならぬのは **補聴器業界の丸秘情報** なのですから。

この小冊子を読み終わった時、あなたは、

- ◆ できるだけ金額を抑えた、良質の補聴器を選ぶポイントは何なのか。
- ◆ 私にピッタリなのは、どんな種類の補聴器なのか。

◆どんな販売店なら良心的なのか、そして、どうやって見分ければ良いのか。

◆販売店に言いくるめられることなく、どうやって積極的な補聴器活用を考えていけば良いのか。

など、あなたが思いどおりの補聴器選びを実現するのに、絶対に欠かすことのできない判断基準を身に付ける事が出来るのです。

もう、見てもらえません。

10万円以上の補聴器も存在するという、気の遠くなるほど高価な補聴器。

聞き返しの少ない楽しい生活は、この、補聴器を購入することで、ようやく手に入れる事が出来ます。

「購入したいけれど、ちよつと気に入らない」といって、洋服や靴のよ
うに、即、買い換えるというわけには到底いきません。当たり前です。

だからこそ、誰もが、大きな期待と希望を抱き、それと同じくらい大きな不安を感じるのです。

- ◆ そんな高価な補聴器を購入して本当に効果があるのだろうか
- ◆ 安い補聴器もあるけど、これだと、本当に雑音は、多いのだろうか
- ◆ メーカーや機種を選択を失敗して、将来、後悔しないのだろうか

◆補聴器を長時間使うことによつて、さらに聞こえにくくなつたら、どうしよう
◆販売店は信頼したいけれど、本当にしつかりと調整をしてくれるのだろうか
◆購入後、付き合いは長くなるけれど、今後とも変わらずフォローしてもらえるの
だろうか

◆購入して2、3年で聞こえが低下した場合、また、買い替える必要はないのだ
ろうか？

◆そして、何より、効果のない補聴器にはなり得ないだろうか。

あなたが真剣であればあるほど、不安は増すばかりです。

私は、運悪く、この高価な買い物に失敗した人たちの悲鳴を、今まで何
度となく見聞きしてきました。

その度に、やりきれなくて、なんだか暗い気持ちになるのです。

そして、「このまま黙っていては、この業界は決して良くはならない。」という想いが強くなっていくのです。

今のまま、何の判断基準も得られない状態で決して安くない買い物をするのは非常に危険です

あぶなつかしくて見ていただけません。

少なくともこの読者の方だけでも、それだけは避けていただきたいのです。

そのために、補聴器のプロとしてあなたに、に伝えなければならぬことを一生懸命に書きました

あなたに、しっかりと伝わるように、何回も何回も書き直しました。

簡単に読んでもらえるように専門用語を避け、どんな方が読んでも伝わるようにで

きるだけ解りやすい言葉で書きました。

補聴器をを購入して、あなた満足して笑うか、それともトラブルになって泣くか。ぜひ、この小冊子を読んでみてください。そして思い通りの補聴器選びで、是非、明るい生活を過ごして行ってください。

2012年12月

